

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	中学校営繕事業			
予算科目	10 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	学校教育課	電話番号(内線):	642
記入者情報	所属長:	田中 浩	担当責任者:	大西 昌治
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内中学校 4校			
事業の必要性	生徒の教育の場にふさわし環境が、必要なため。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	市内5中学校
運営方法	【運営方法】	直営	【運営費(予定)】	##
事業の目的	生徒が、安全で、安心して過ごせる学校施設の整備を図る。			
事業の内容	中学校施設及び設備の修繕・改修			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	30,120	1,830	248	807
	人件費	1,199	1,220	569	1,220
	合計	0	3,050	817	2,027
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.07	0.15
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,220	569	1,220
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	31,319	3,050	817	2,027

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
設計委託	3,900						
営繕工事	65,400						
年度別事業費	69,300						
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	69,300					
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、施工時にコストの縮減等適正な執行に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	100	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度、計画をしていた営繕工事については、一部の工事を除き、学校と施工時期を調整しながら、適正に実施することができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	計画をしていた営繕工事は、適正に実施することができた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	